

震災から10年目！復興の完遂を 令和2年度一般会計予算747億円を可決

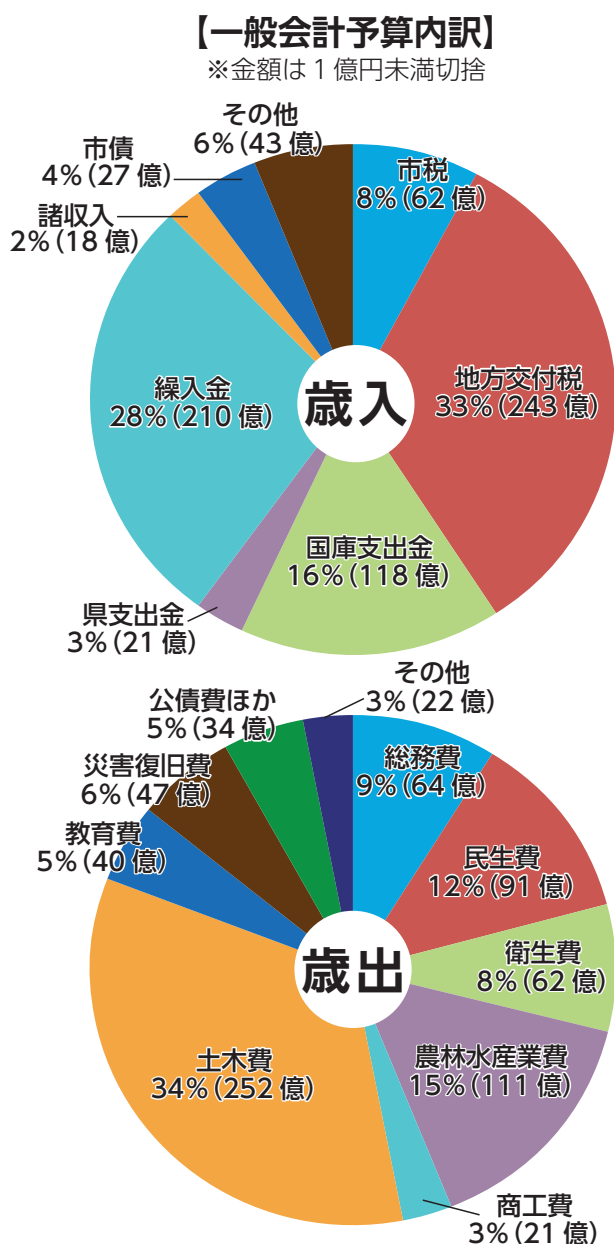
今期定例会に提出された令和2年度一般会計当初予算は725億9427万3000円で、前年度対比9.8%の減となりました。

また、定例会最終日には21億2488万9000円を追加し、予算総額は747億1916万2000円となりました。

議員全員で構成する一般会計予算審査特別委員会での計4日間にわたる審査の結果、当初予算、補正予算とも原案のとおり可決しました。

東日本大震災発生以来、「復旧・復興」を最優先課題としながらも、人口減少対策などの「地方創生」各種事業に取り組んできました。住まいの再建が進み、大規模な復興関連事業は総仕上げの段階となっており、復興の完遂に向けた集中的な取り組みが必要となっています。

一般会計予算の構成、特別会計、企業会計の予算額は次のとおりです。



審議の内容は17ページをご覧ください



一般会計		747億1916万円
特別会計	土地	86万円
	国民健康保険	78億6806万円
	後期高齢者医療	9億5352万円
	介護保険	72億2322万円
	魚市場	3億7209万円
	唐桑半島ビジターセンター事業	567万円
	計	164億2345万円
企業会計	水道事業	70億9437万円
	簡易水道事業	1億4106万円
	ガス事業	6億705万円
	下水道事業	34億5339万円
	病院事業	128億4666万円
	計	241億4255万円
【一般】 + 【特別】 + 【企業】		1152億8516万円

(各会計予算額は1万円未満切り捨てですが、小計、合計は総額を1万円未満切り捨てで表記しています)